

# 1 部

学習サポート

## 8～10月の各種申込み締切一覧

各種の申込みや提出の締切で主として8～10月初旬のものを一覧にいたしました。通信教育部では各自のペースで学習していただくことを基本としておりますが、各種の申込みは下記の日程必着をお願いいたします。

### ■全学生に関連するもの

	提出物	締切日
9月科目修了試験	レポート・ 申込みハガキ	8月25日(木)
夏期スクーリングⅤ (9/2～9/11)	申込みハガキ	8月11日(木)
秋期スクーリングⅠ (9/17～10/2)	申込みハガキ	8月25日(木)
秋期スクーリングⅡ (10/8～10/23)	申込みハガキ	9月15日(木)
オンデマンド・スクーリング7	申込みメール	8月10日(水)正午
オンデマンド・スクーリング8	申込みメール	10月5日(水)正午
特講・社会福祉学7 履修登録・スクーリング申込み	履修登録用紙	9月30日(金)

	受付日
レポート (レポートはいつ提出してもよいものですが、受付日の午前中到着分までについて、まとめて教員に依頼します。ひとつの提出目標として目安にしてみてください。)	8月8日(月) 8月18日(木) 8月26日(金) 9月1日(木) 9月13日(火) 9月20日(火) 9月30日(金) 10月6日(木)

## ■社会福祉援助技術演習・実習関連

	締 切 日	備 考
<p>◆社会福祉援助技術演習Ⅰ 2単位めレポート</p> <p>★社会福祉援助技術演習A 2・3単位めレポート (スクーリング事後レポート)</p>	<p>7～8月受講者で 今秋◆演習Ⅱ・★ 演習B受講希望者 →9月15日(木)</p> <p>※震災により10/ 15まで可。その 場合◆演習Ⅱ・ ★演習Bの受講 は定員に余裕の ある会場。</p>	<p>『レポート課題集 2011(1・2年次)』 「◆演習Ⅰ」 p. 125～131 「★演習A」 p. 190～194</p>
<p>◆社会福祉援助技術演習Ⅱ・★演習B スクーリング受講申込み 1単位めレポート</p>	<p>10～11月受講希望者 →9月15日(木)</p> <p>※震災により10/ 15まで可。その 場合◆演習Ⅱ・ ★演習Bの受講 は定員に余裕の ある会場。</p>	<p>『レポート課題集 2011(3・4年次)』 「◆演習Ⅱ」 p. 54～58 「★演習B」 p. 119～125</p>
<p>◆社会福祉援助技術現場実習指導(事前) スクーリング受講申込み</p>	<p>11～12月受講希望者 →9月16日(金)</p>	
<p>◆社会福祉援助技術現場実習指導(事後) スクーリング受講申込み</p>	<p>11～1月受講希望者 →9月30日(金)</p>	<p>『レポート課題集 2011(3・4年次)』 「★実習指導B」 p. 138～142 「★演習C」 p. 126～133 「◆実習指導」 p. 59～64</p>
<p>◆社会福祉援助技術現場実習指導(事後) 課題3-① (実習事後レポート)</p>	<p>9/3受講希望者 →8月17日(水)</p>	
<p>★社会福祉援助技術実習指導B 課題3・4・5</p>	<p>10/22受講希望者 →9月30日(金)</p>	
<p>★社会福祉援助技術実習指導B(B-3) +★社会福祉援助技術演習C(C-2) スクーリング受講申込み</p>	<p>11月受講希望者 →9月30日(金)</p>	

	締 切 日	備 考
★社会福祉援助技術演習C 3単位めレポート	9/3・4(B-3+C-2) 受講希望者 →8月19日(金)	『レポート課題集 2011(3・4年次)』 「★演習C」 p. 126～133
	7/30・31(C-1+C-2) 受講者 →8月31日(水)	
★社会福祉援助技術演習C(C-1+C-2) スクーリング受講申込み (実習免除者・科目等履修生での実習希望者)	9月10日(土)	
◆社会福祉援助技術現場実習 受講申込み	8月31日(水)	『レポート課題集 2011(3・4年次)』 「◆現場実習」 p. 65～67

## ■精神保健福祉援助演習・実習関連

	締 切 日	備 考
精神保健福祉援助演習 スクーリング受講申込み	10～11月受講希望者 →9月15日(木)	『レポート課題集 2011(3・4年次)』 p. 75～82
精神保健福祉援助実習(事前指導) スクーリング受講申込み	11～12月受講希望者 →9月16日(金)	『レポート課題集 2011(3・4年次)』 p. 83～97
精神保健福祉援助実習(事後指導) スクーリング受講申込み	12～2月受講希望者 →9月30日(金)	
精神保健福祉援助実習 課題3-② (実習事後レポート)	9/10・11受講希望者 →8月22日(月)	
精神保健福祉援助実習 受講申込み	8月31日(水)	

## ■教育実習・障害者(児)教育実習・介護実習関連

	締切日	備考
教育実習・障害者(児)教育実習誓約書・健康診断書・抗体検査のコピー（・個人調査票のコピー）提出	10月実習開始者 →8月15日(月) 11月実習開始者 →9月15日(木)	※事前指導受講済者のみ対象 ※抗体検査は数値だけのものではなく、医師による抗体を有する旨の文言が入ったものであること。
障害者(児)教育実習事前・事後指導 1単位めレポート	7/30・31受講者 →8月16日(火)	『レポート課題集 2011(3・4年次)』 p. 283～288

## ■その他

### ●心理学実験

- ・心理学実験Ⅰ（8月受講者）実験レポート 8月18日(木)
- ・心理学実験Ⅱ（8月受講者）実験レポート 8月31日(水)
- ・心理学研究法Ⅱ（8月受講者）1単位めレポート 8月31日(水)
- ・心理学実験Ⅰ（9月東京受講者）実験レポート 10月5日(水)

### ●オンデマンド・スクーリング受講者

- ・オンデマンド6 試験レポート提出期限 8月3日(水)正午
- ・オンデマンド7 試験レポート提出期限 9月21日(水)正午

### ●10月生

- ・年度内評価レポート提出期限 8月31日(水)

### ●卒業研究申込締切 10月5日(水)

● 9月卒業希望者

- ・心理学実験Ⅰ・Ⅱ単位認定レポート提出期限 8月31日(水)
- ・オンデマンド・スクーリング7試験レポート提出期限

9月7日(水)正午

# 学士力とレポート課題

教員 MESSAGE

教授 皆川 州正

## ■はじめに

8月は、東北ではお盆（月遅れの盆、旧盆）が行われます。あらためて、東日本大震災でお亡くなりになった2万5千人の方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。また、被災された方々、今も不自由な避難所生活を余儀なくされている方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、卒業までに何をどのように学ぶのか（学士力といいます）について知り、その学士力を道標として大学での学びを深めることは大切なことと思います。特に、大学で学ぶことの内容は一昔前とは大きく変わりました。そこで、レポート課題についても学士力の観点から考えてみたいと思います。

## ■学士力とは

今日、大学のグローバル化とユニバーサル化が世界的に進んでいます。

グローバル化とは留学生が増えている状況をいいます。そこで、日本の大学を卒業する時には何をどの程度学んでいるかを国際的に示し、日本の大学の質を保証することが求められています。

ユニバーサル化とは、4年制大学進学率が50%以上となった状況をいいます。その結果、同じ大学の学生であっても、学力、学習スキル、学習意欲の格差が広がりました。そこで、入学後も基礎学力を高め、学習スキルを身につけ、学習意欲を高めることが求められています。

また、社会からは、大学を卒業するまでに社会人としての基礎的な力を

身につけるように求められています。

以上のような流れを踏まえ、中央教育審議会は平成20年12月に『学士課程教育の構築に向けて』を答申し、その中で参考指針として「学士力」を明確にしました。それは以下の内容になります（文部科学省[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1217067.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1217067.htm) 参照）。

1. 知識・理解（多文化・異文化に関する知識の理解，人類の文化，社会と自然に関する知識の理解）
2. 汎用的技能（コミュニケーション・スキル，数量的スキル，情報リテラシー，論理的思考力，問題解決力）
3. 態度・志向性（自己管理能力，チームワーク，リーダーシップ，倫理観，市民としての社会的責任，生涯学習力）
4. 総合的学習経験と創造的思考力

詳しくは本学ホームページ「リエゾンゼミ・ナビ『学びとの出会い』」の第1章3節「リエゾンゼミについて知ろう」を参照ください。

## ■学士力とレポート課題

---

学士力の中で大きく取り入れられたのが汎用的技能と態度・志向性です。汎用的技能について「人格心理学」のレポートとの関連をみていきます。

- 1) コミュニケーション・スキル（読み，書き，聞き，話すこと）教科書や文献を調べてレポートを書くということは，読み・書きにあたります。具体的には，本学ホームページ「リエゾンゼミ・ナビ『学びとの出会い』」の第3章9節「レポートを作成してみよう」をぜひご一読ください。
- 2) 数量的スキル（図表を用いて分析できること）教科書や文献の実



験・調査データから何をどのように読とるのかということ学びます。

3) 情報リテラシー(情報機器の活用) レポート課題についてインターネット(Google Scholar, CiNiiなど)を用いて文献を検索します。

4) 論理的思考力(自分の考えにこだわらず、多様な視点から柔軟に考えること) 人格について、さまざまな理論に基づいた多様な理解の仕方を学びます。また、発達や臨床など、多面的に見る視点も学びます。レポートでも、多様な視点から見ることをねらいとして課題を設定しています。例えば、課題1:①では状況の影響も大きいことを学び、③では自己概念の影響、④では認知の重要性を学びます。課題2:同じ人物について、①類型論と②特性論から理解をします。③では病理についての研究に対して健康な面に着目した研究という視点を学びます。

5) 問題解決力(問題を発見し、情報を集めて分析し、解決すること) 日本を含め世界は、地球規模での環境問題に直面しています。さらに、日本は、65歳以上の人口が2007年には21%を超え(超高齢社会の到来)、2023年には30%に達し、2050年には40%に達する見込みで、かつてない問題に直面しています。また、百年に一度と言われる2007年の世界同時不況、千年に一度と言われる2011年の東日本大震災など、"想定外"の困難な状況が次々と起きています。このように、今は、一人ひとりが問題の発見・解決力を身につけることが求められています。レポートでは、課題1の②と④、課題3で援助(問題解決)について考えます。

## ■おわりに

---

大学の教育は、一方的に教えることから主体的に学ぶことに転換しつつ

あります。その点では、通信教育部は最先端にあるともいえます。本学ホームページ「リエゾンゼミ・ナビ『学びとの出会い』」を独習した上で、レポート課題に取り組むと、さらに実りある学びとなるでしょう。



リエゾンゼミ・Webテキスト表紙（芹沢銈介の型絵染「心の字」）

ホームページ「リエゾン・ナビ『学びとの出会い』」

<http://www.tfu.ac.jp/liaison/edu/index.html>

（本学通学向けホームページのトップページより、中段右側のアイコンからジャンプできます。）